

北星学園大学は
開学60周年を迎えました



02 | 2023年4月、北星学園大学に
社会福祉学科が誕生します！

03 | 北星学園大学開学60周年記念事業

- 開学60周年記念特設サイト公開
- 開学60周年記念ロゴが決定
- 開学60周年記念セミナーを開催
- 開学60周年記念募金のお願い

06 | [先生たちのその素顔]

経済学部 共通科目・言語教育・教職部門 専任講師 申 恩真 先生
フィールドワークで見えてきた女子サッカー選手の「いま」

07 | [学生広報委員 企画ページ]
星学祭のご紹介

08 | [HOKUSEI INFORMATION 北星学園大学からのお知らせ]

新コンテンツ「re+discover HOKUSEI」がスタート！
「グローバルスタディーズコース」の特設サイトを公開中！

[まちがいさがしクイズ]

北星学園大学オリジナルグッズが当たる！



04-05

北星学園大学開学60周年記念 オリジナルワインプロジェクトが始動！

10R ワイナリー代表 ブルース・ガットラヴ 氏
北星学園大学 学長 大坊 郁夫

10R ワイナリーを案内していただきました！

[学生広報委員]

経済学部 経済学科 3年 澁谷 太一 さん
経済学部 経営情報学科 4年 山中 一恵 さん

2023年4月北星学園大学に社会福祉学科が誕生します！

「北星の福祉」－新たなステージへ－

「人々の多様性を認め、ともに生きる社会」の実現に向けて
人と人をつなぎ、地域や支え合いの仕組みを創造できる人材の育成を目指します



2023年4月 社会福祉学部が変わります。

変更前

社会福祉学部

福祉計画学科

福祉臨床学科

福祉心理学科

変更後

社会福祉学部

社会福祉学科(新設)

心理学科

福祉心理学科は心理学科に名称変更します。

社会福祉学科 基本情報

■開設時期：2023年4月

■入学定員：120名/3年次・編入学定員5名

■修業年限：4年

■取得学位：学士(社会福祉学)



◀社会福祉学科特設サイト[<https://www.hokusei.ac.jp/newdepartment/>]

社会福祉学を核として学ぶ3領域

▶ソーシャルワーク領域

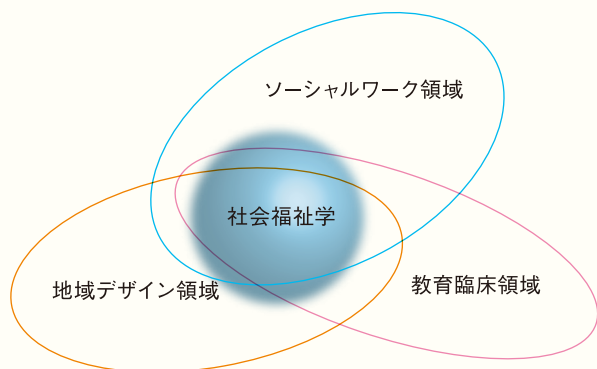
現代社会は「人と人のつながり」が希薄化する「孤立化社会」ともいえます。対人支援から地域・社会の課題解決に向けて、ソーシャルワーク専門職に必要な価値・知識・技術と、社会福祉の理論・制度・政策について専門的に学びます。

▶教育臨床領域

子どもの学びと成長に向けて、個々の個性や多様性に寄り添う教育の理念と方法について、福祉の視点・マインドとのつながりを踏まえながら実践的に学びます。

▶地域デザイン領域

地域づくりや地域の活性化に向けて、企業や行政などで活かせる福祉の視点や地域デザインの理論・実践について、経済学や法学なども含めて多角的に学びます。



社会福祉学科で身につく6つの力

▶コミュニケーション力

共感をもって相談に応じ、多様な関係機関と協働できる。

▶分析力

多様な生活問題と背景にある社会構造の歪みを見つけ、的確に捉えられる。

▶デザイン力

地域の社会資源を創造し、課題の解決策を計画・立案できる。

▶支援力・教育力

自ら支援に取り組み、相手の課題解決力を促すことができる。

▶企画・実践力

さまざまなニーズに対応し、社会の多様な分野において企画・実践できる。

▶研究力

専門的知識・技術の向上と成長をめざして自己研鑽できる。

社会福祉学科の特色

▶「社会福祉学」を総合的かつ学際的に学ぶ

60年にわたる社会福祉学教育の伝統・実績を土台として、時代の変化や社会のニーズに対応した充実のカリキュラム。

▶3つの次元(ミクロ・メゾ・マクロ)から専門的に学ぶ

理論・政策・実践の連関を踏まえ、個人・家族への支援(ミクロ)から地域づくり(メゾ)、そして社会およびグローバルな諸課題へのアプローチ(マクロ)について探求。

▶多様な進路を可能にする3領域・10科目群で学ぶ

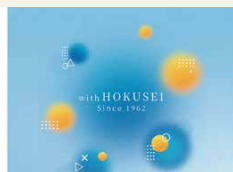
学びの多様性に基づき、福祉専門職や学校教員はもとより、行政機関、一般企業、公益団体、大学院進学など幅広い進路選択を実現。



北星学園大学開学60周年記念事業

北星学園大学では、学生や教職員、卒業生の皆さまとともに開学60周年を祝うさまざまな事業を企画しています。
今後実施予定の企画もございますので、皆さまふるってご参加ください。

「開学60周年記念特設サイト」を公開しました



開学60周年記念事業に関するお知らせなどを随時公開、更新しています。
QRコードよりアクセスしてください。



■開学60周年記念特設サイト
https://www.hokusei.ac.jp/60th_anniversary/

開学60周年記念セミナーを開催します

中高生対象／各回定員50名

今秋より3回にわたり、中学生・高校生を対象としたセミナー「頭をほぐす3つのレッスン」を開催します。
定員に余裕がある場合は一般の方もご参加いただけますので、お気軽にお申し込みください。

■会場：北星学園大学
(札幌市厚別区大谷地西2-3-1
地下鉄東西線「大谷地駅」徒歩5分)
■お申し込み：QRコード・URLより
お申し込みください。



<https://forms.gle/V4XmwSVjuAt76wZ8>

【注意事項】

- どなたでもお申し込みいただけますが、参加は中学生・高校生を優先とし、定員に余裕があるときに限り一般の方もご参加いただけます。
- お申し込み後に詳細を記したメールをお送りします。
- 新型コロナウイルス感染症の状況によってはオンライン開催になることがあります。

頭をほぐす3つのレッスン

2022年10月22日(土)

13:00~17:00

AIと日本語を考える

講師：川添 愛氏
(作家)



2022年11月26日(土)

13:00~17:00

もう少し「わがまま」に生きる

講師：富永 京子氏
(立命館大学准教授)



2023年1月21日(土)

13:00~17:00

本を作る・本から考える

講師：新明 史子氏
(美術作家)



開学60周年記念ロゴが決定しました

本学学生・卒業生・教職員から募集していた開学60周年記念ロゴが、学内選考と大学公式Twitterでの公開投票により決定しました。本ロゴマークは開学60周年を内外に広く周知するため、各種記念事業に活用していきます。



【制作者】
経済学部 経済学科4年
たけやま はるか
武山 遥さん



「北星学園大学の歴史が続いていくことを願い、途切れない円のモチーフを取り入れました。大学のシンボルカラーである紺色とライラックカラーのグラデーションが繊細な夜明けのイメージ、「6」を星の軌道に見立てたデザインは、「世にあって星のように輝く」という言葉に着想を得ています」

武山さんのTwitterアカウント【@xi918ix】
バンドロゴやグッズデザイン、MVなどを制作・発信しています！

開学60周年記念募金のお願い

本学は「人間性・社会性・国際性」の育成を教育目標に掲げ、多文化共生型のキャンパスを目指してきました。北星学園大学で学ぶすべて学生が世にあって星のように輝くことを願い、教育活動の充実を目的とした寄付金を募集いたします。お寄せいただいた寄付金は、グローバル人材を育成するための「国際交流・留学支援の充実」、障害やその他の理由で困難を感じている学生をサポートするための「アクセシビリティ支援の充実」に役立ててまいります。皆さまからのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【寄付金の使い道】

●国際交流・留学支援の充実

サラ・C・スミスによって北星学園が創設されて以来、国際交流は重要な教育の柱となっています。本学はアメリカやヨーロッパ、アジアなど世界18校と姉妹校提携を結び、コロナ禍によって渡航が困難な中でも、オンライン等を活用しながら国際交流を継続してきました。今後も「国際教育の北星」としてグローバルな人材を世界へ送り出すために、国際交流・留学支援に努めてまいります。

●アクセシビリティ支援の充実

本学のアクセシビリティ支援室では、障害やその他の理由で困難を感じている方たちの相談にのり、合理的配慮に基づきさまざまな支援を行っています。今後もより適切な支援を行うために、教員や学内各部署との連携を図り、学内ユニバーサルデザインの検証やサポート学生の育成、アクセシビリティ支援推進のための学内周知などにも尽力してまいります。

個人：1口2万円(1口に満たない金額でも喜んでお受けいたします)
※本寄付金は寄付金控除の対象となります。 ※本寄付金は任意です。

【寄付金額に応じて返礼品をお贈りさせていただきます】

■1口(2万円)以上：北星オリジナルフェアトレードコットンバッグ

■2口(4万円)以上：大学開学60周年オリジナル記念品(いずれか1つ)

●北星オリジナルスパークリングワイン(数量限定、2024年春頃お届け予定)

本誌特集(4~5ページ)で詳しくご紹介しています。

●お菓子のドルチェヴィータ オリジナルスイーツセット

経営情報学科・鈴木克典ゼミが商品開発を手がけた「白いカステラ」もセットに含まれます。本誌バックナンバー31号掲載の開発秘話もぜひご覧ください。

<https://www.hokusei.ac.jp/news/103740/>



寄付のお申込みはコチラから▶

https://www.hokusei.ac.jp/60th_donation/



オリジナルワインプロジェクトが始動！

2022年、北星学園大学は開学60周年を迎えました。その記念事業の一環として、キリスト教との関わりも深いワインの製作プロジェクトが進んでいます。醸造を手がけるのは、岩見沢市で「10R(トアール)ワイナリー」を営む傍ら、次世代の醸造家育成にも尽力するブルース・ガットラヴ氏。さわやかな初夏の日、本学学長と2名の学生がブルース氏のもとを訪れ、お話を伺いました。

10Rワイナリー代表
有限会社ココ・ファーム・ワイナリー取締役
ブルース・ガットラヴ氏



学長
だい ぼう いく お
大坊 郁夫



北星とブルース氏、時空を越えてつながる絆

大坊：ブルースさんはニューヨークで生まれ、カリフォルニアでワインづくりを学ばれたそうですね。本学の根幹であるキリスト教においてワインは大切なものですし、本学を創立したサラ・C・スミス先生もニューヨーク出身で、晩年をカリフォルニアで過ごされました。さまざまな縁があるブルースさんにワイン醸造をお引き受けいただき、うれしく思います。

ブルース：私は2009年に北海道に移住する前、栃木県のワイナリーで技術指導を行っていたのですが、このワイナリーは知的障害を持つ人々が働きながら自立を目指す福祉の場でもあります。ここで社会福祉学教育の伝統がある北星学園大学のことはよく聞いていました。実は当ワイナリーのスタッフにも卒業生がいるんですよ。おまけに私は昨年還暦を迎え、60周年という数字にも共通点があります。これほど多くの縁がある北星学園大学からワイン醸造のお話をいただき、とても面白い提案だと思いました。



大坊：ブルースさんは自社ワインだけでなく、ブドウ栽培農家からの受託醸造を通して次世代の醸造家育成にも取り組んでいるそうですね。未来の担い手を育てるという点でも、大学教育に共通する姿勢を感じます。

ブルース：私はワイン醸造を志す人々に醸造技術を伝え、彼らが自分なりのワイン哲学を確立するためのサポートをしています。ここはさまざまな生産者が集まり、それぞれのワインを造る場所。だから特定の人に依らない「とある(10R)」ワイナリーなんです。ネーミングのアイデア考えたのは妻ですが。

大坊：とても良いネーミングですね。ここから巣立った人々がワインを作

り、そのワインを楽しむ人々の輪が広がり、やがてワインツーリズムが生まれる。ワインには人を動かし、人をつなぐ力があるのだと実感します。そのつながりに本学が加わることにワクワクしています。

北星のイメージでつくるスパークリングワイン

大坊：同じ土地、同じ品種のブドウでも、ワインの仕上がりは全く異なるものですが、ブルースさんがワイン造りで大切にしていることは何ですか？

ブルース：作りたいワインのイメージを描くと、イメージに合った技術が決まってきます。機械化された近代的な醸造法もありますが、私が好きなのは伝統的なスタイル。おいしいブドウができれば人間はさほど手を加える必要はありません。なぜなら、ブドウはワインになりたいのですから。

大坊：まさに大学教育に通じる考え方ですね。教員は手取り足取り教えるのではなく、学生が自分の資質に自ら気づくための触媒となることで、学生はなりたいたい自分を目指すのだらうと思います。記念ワインはこの秋収穫するブドウを使い、2024年に完成予定とのこと。昨今の気候変動も気になりますが、どんなワインになるのか楽しみです。

ブルース：今回はシャルドネという品種で白のスパークリングワインを作ります。シャンパンの完成に生涯を捧げた盲目の修道士、ドン・ペリニオンは発泡したワインを初めて飲んだ時「まるで星を飲んでいるようだ！」と





言ったと伝えられています。このイメージはまさに北星学園大学そのものではないでしょうか。ブドウは気温が高いと熟度が進む一方、酸が抜けてしまいがち。スパークリングワインは涼しい方がさわやかな風味になるので、北海道の気候は合っていると思います。北海道が一大ワイン産地へ成長した背景には温暖化が関わっていることが指摘されていますが、もともと寒冷地ですし、今年は夏本番を迎えるまで気温が低い時期が続きましたから、スパークリングワインを仕込む上では期待できそうです。頑張っておいしいワインを造りますので、収穫まで天候に恵まれるよう皆さん祈ってください。



大坊: 学内でも学生が中心となってラベルデザインを制作する予定になっています。今回のプロジェクトを通して、ブドウを栽培する方とワインを造るブルースさん、本学の学生や教職員、本学を支えてくださる人々との強い絆が結ばれることを願っています。本日は誠にありがとうございました。

寄付返礼品として 記念ワインをお贈りします

北星学園大学では開学60周年記念募金をお願いしています。賜りましたご寄付は本学の教育活動の充実に活用させていただくとともに、寄付金額に応じて返礼品をお贈りいたします。詳しくは本誌3ページの「開学60周年記念募金のお願い」をご参照ください。

10Rワイナリーを案内していただきました！



10Rワイナリーは日本でも数少ないカスタムクラッシュ（受託醸造）ワイナリー。それぞれの生産者がブルース氏のもとで醸造法を学び、樽やステンレスタンク、コンクリートタンクなど、自分が求める醸造スタイルを追求します。

「栗沢の夏は涼しく、冬は雪が毛布のようにブドウの苗を包み込んでくれる。水はけの良い丘陵地もブドウ栽培に最適です」とブルース氏。畑を荒らしにやってくる野ウサギとの攻防も、恵み豊かな自然の証かもしれません。



ブドウの栽培方法や収穫時期、酵母の種類や発酵方法、タンクの素材、樽の産地や焼き加減に至るまで、一つひとつの要素が一本のワインに集約されていきます。成人して間もない二人も奥深いワインの世界にふれ、飲んでみたい気持ちが高まりました。

ブルース・ガットラウ 氏 PROFILE



1961年ニューヨーク生まれ。ニューヨーク州立大学在学中にワインへの関心を深め、カリフォルニア大学デイヴィス校で醸造学を学ぶ。1989年に来日して栃木県のココ・ファーム・ワイナリーでワイン造りの指導に携わった後、2012年に岩見沢市に「10Rワイナリー」を設立。自社醸造と受託醸造を並行しながら、北海道のワイン文化隆盛に尽力している。

【学生広報委員】

経済学部 経済学科 3年 しや たい ち 澁谷 太一 さん 標茶高等学校 出身



ブドウの品種や樽などによって全く異なるワインができると知り、ワイン醸造の奥深さに感銘を受けました。環境経済ゼミで海洋ゴミ問題を研究しているため、気候変動がブドウ栽培に及ぼす影響も知ることができ、興味が湧きました。

【学生広報委員】

経済学部 経営情報学科 4年 やまなか ひと え 山中 一恵 さん 札幌第一高等学校 出身



若手醸造家を育成するブルースさんの存在は、今後の北海道のワイン事業を発展させる原動力になると感じました。ワイン造りに携わるゼミに所属していましたが、コロナ禍で現地へ行けなかったため、今回の見学は良い経験になりました。

Featured Faculty Member

先生たちの その素顔

経済学部
共通科目・言語教育・教職部門 専任講師 申 恩真 先生

PROFILE

1988年大韓民国ソウル特別市生まれ。
北海道大学大学院 教育学院 博士後期課程単位取得満期退学。北海道大学大学院 博士(教育学)。
北星学園大学、北海道スポーツ専門学校、星槎道都大学の非常勤講師を経て2020年より現職。

フィールドワークで見えてきた 女子サッカー選手の「いま」



■女子サッカーの研究をはじめたきっかけ

2011年にサッカー日本女子代表「なでしこジャパン」がFIFA女子ワールドカップで優勝したことは、みなさんも覚えていることでしょう。その時メディアでクローズアップされたのが、年俵や労働環境をめぐる男女格差の問題でした。私自身もサッカー経験者として、女性がサッカー選手として生きる上で表面化していない問題があると感じていたのです。そこで日本の女子サッカー選手を取り巻く環境について研究したいと考え、大学院に進学し、スポーツ社会学者になることを目指しました。

■女子サッカーチームに帯同して課題が見えてきた

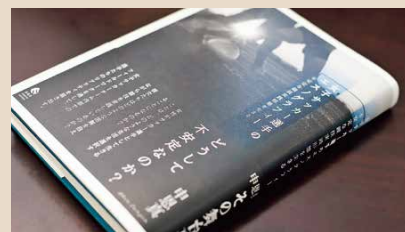
女子サッカーチームに帯同してフィールドワークを行う中で、さまざまな現実が見えてきました。ひとつのチームにプロ選手とアマチュア選手が混在しており、プロ選手は競技に専念できる一方、常にアマチュア選手から厳しい視線を向けられます。一方アマチュア選手は立ち仕事でフルタイム働く人も多く、夜間練習や週末の試合で身体を休める暇もありません。プロ選手とアマチュア選手の立場がそれぞれ異なるため、月経など女性特有の症状についてもチームメイトには言いにくいもの。昨年女子サッカーのプロリーグが誕生し、これらの問題への対処が指摘され始めていますが、改善にはまだまだ時間がかかります。今後は女子サッカーの日韓比較研究にも取り組み、女性アスリートをめぐる課題に向き合っていきたいと考えています。

■北星キャンパスは小さなグローバル社会

北星学園大学は私も含めて外国人の先生が多く、学生も外国語や異文化に対する関心が高く感じます。留学生との交流や国際理解を深めるプログラムも充実していて、いわば小さなグローバル社会ですね。私は体育実技のほかに「韓国・朝鮮の文化」を担当していますが、学生たちは異文化に対する理解度が高く、自分の考えを述べながら受講してくれています。韓国の慣習や価値観への理解をきっかけに、世界へ目を向けるグローバルな視点を養ってもらいたいと願っています。



K LEAGUE K-WIN CUP (韓国・女子サッカー大学部大会)にコーチとして参加。忘れられない思い出になりました！



著書：2022年3月、『女子サッカー選手のエスノグラフィー～不安定な競技実践形態を生きる』(春風社)を出版しました。



本学WEBサイトコンテンツ「研究者ストーリー」で申先生のインタビュー動画も閲覧できます。
<https://entry.hokusei.ac.jp/scholar/shin/>



今こそ!

北星に行こう!!!!

今年度、本学の大学祭「星学祭」を3年ぶりにリアル開催することになりました。星学祭には一般の方も楽しめるイベントが盛りだくさんです。星学祭の魅力をたくさん知ってもらうため、今までの開催内容や今年度の開催イベントをご紹介します!



星学祭について

星学祭は、今年度第61回の開催となります。ここ数年は新型コロナウイルスの影響で開催中止やオンライン開催となっておりましたが、それ以前はリアル開催をしていました。リアル開催の星学祭では、学生による模擬店の出店や名物イベント「もちまき」の実施、本学サークルや団体によるコンサート・ライブ・YOSAKOIソーラン祭りの演舞、さらに、芸能人を招いてのトークショーなどを行っています。



◀ 学生広報委員キタボシでは、たこ焼を提供する「たこ☆ボシ」を出店していました。さまざまな模擬店があり、過去には汁なし担々麺やケバブのお店もありました。



▲ 恒例のもちまき。大人・子どもを分けて行うのでお子様も安心して参加できます。

◀ YOSAKOIソーラン祭りin 北星には本学演舞同好会のほか、学外団体からも出演していただいています。



▲ 星学祭のラストを飾る花火大会。迫力満点で毎年大好評です。

今年の星学祭

スローガンは

流星光底!!

今年度の第61回星学祭は、10月9日(日)の開催を予定しています。詳細スケジュールは、今後、北星学園大学公式HPにて公開予定です。スローガンは「流星光底」。「流星のように一瞬の間だけ煌めく光」という意味の四字熟語で、「星学祭という一日を人生の青春と捉え、その一瞬の青春という光を全力で楽しもう」という意味が込められています。星学祭に参加する学生や運営委員、教職員、そして来場して下さる一般の方にも、3年ぶりのリアル開催を全力で楽しんでいただきたいと思います。活気と共に青春を感じていただければ幸いです。

※星学祭および開催イベントは、新型コロナウイルス感染症の拡大状況により予告なく変更・中止となる可能性があります。

10月9日(日)第61回星学祭 開催イベント(予定)

- 模擬店の出店
- 研究発表
- YOSAKOIソーラン祭りin北星
- THE☆もちまき
- BINGO 大会
- 学外ゲストによるトークショー

※イベント名は仮称であり、変更になる場合があります。

学校祭実行委員にインタビュー



経済学部 経済法学科 3年
委員長 齋藤 健太さん

Q. 委員会に入ったきっかけは?

北星学園大学では学生が主体的に学校祭の運営が行えることを知って入りました。念願のリアル開催で、自分がやりたかった活動をする事ができてとてもうれしく思っています。



文学部 心理・応用コミュニケーション学科 3年
委員 高木 七海さん

Q. 委員の活動で大変なことはありますか?

この数年は、新型コロナウイルスによる影響で例年とは違う形で活動をするというのが一番大変でした。少しずつ以前どおりの活動が行えるようになってきたので、最近是对面ならではの活動の忙しさに刺激をもらっています。



TOPICS

北星の魅力を再発見！
新コンテンツ「re+discover HOKUSEI」
がスタート！

「re+discover HOKUSEI」は、「北星の魅力を再発見！」をテーマに、大学のさまざまな取り組みを今までにない切り口でご紹介する新コンテンツ。現在、本学ウェブサイト内で公開中です。第1回は、就職活動の心強い味方「キャリアデザインセンター」をピックアップ。学生広報委員によるスタッフインタビューのほか、充実した設備やサービスを豊富な写真とともにご紹介しています。今後も本学の日常的な活動やユニークな取り組みをお届けしてまいりますので、ぜひチェックしてください。



▲取材時のようす



https://www.hokusei.ac.jp/public_relations/

英語漬けの4年間で世界へはばたく
「グローバルスタディーズコース」の
特設サイトを公開中！

文学部英文学科では、語学力のみならず世界的多様性を受容できる人間性を育むことを目標に、3つのコースを展開しています。中でも「グローバルスタディーズコース」は、世界に展開する国内外の企業や国連などの国際機関で働ける力を養うことを目標に実施。2023年からは、入学から卒業までほぼすべての授業を英語で開講する道内初のカリキュラムがスタート。世界で戦えるグローバルな視野と異文化コミュニケーション能力を併せ持つバ



イリンガル・リーダーの育成を目指します。詳しくはグローバルスタディーズコースの特設サイトをご覧ください。



<https://www.hokusei.ac.jp/english/global-studies-lp/>

北星学園大学オリジナルグッズが当たる！

まちがいさがしクイズ

北星学園大学の構内を紹介する2枚の写真を見比べて、右の写真の5個の間違ひを探してください。Webやハガキで応募すると、抽選で10名様に北星学園大学オリジナルグッズが当たるチャンス！

[今号のまちがいさがしスポット]

情報実習室

最新の情報教育環境を備えた教室です。Windows、Macのパソコンを設置しており、快適なコンピュータ・ネットワークの利用環境を提供しています。授業で使われていない時は、学生が自学自習に利用することができます。



★応募要項

下記応募フォームまたはハガキにて以下の内容をご記入の上、下記送付先までご応募ください。

- ①問題の答え(まちがい5個) ②郵便番号 ③住所 ④氏名
⑤電話番号 ⑥HOKUSEI@COMのご意見・感想

送付先：〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号

北星学園大学 HOKUSEI@COM「まちがいさがし」係

■応募締切日：2022年10月30日(日)必着

■応募フォーム：https://www.hokusei.ac.jp/hokuseicom_quiz/



★正解発表

「HOKUSEI@COM」34号
(2023年1月発行予定)に
掲載いたします。

※ご応募は1号につき、おひとり様1回までとさせていただきます。

※正解者の中から厳選なる抽選の上、当選者を決定いたします。

当選の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

※お送りいただいた情報は賞品の発送のみを目的に使用させていただきます。

※ご住所・転居先の不明等で賞品をお届けすることができない場合は、当選を無効といたします。

前号の
正解



Hokusei Gakuen University
北星学園大学
北星学園大学短期大学部

発行／広報委員会
〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号
TEL 011-891-2731(代表)
URL <https://www.hokusei.ac.jp>
E-mail koho@hokusei.ac.jp



本誌制作に伴う取材・撮影は、新型コロナウイルス感染予防策をとった上で実施しています。

